

ニュージーランド派遣

遠軽高校2年 奥山 亜子

今回のニュージーランド派遣を行う私の目標は、初めての文化、生活、食べ物、学校を体験することでした。今回参加してみて毎日驚くことがたくさんあったので、ニュージーランドの文化への理解を深めることができ、目標を達成できたと思っています。印象的だったのは、毎日10時から10時半の間にティータイムがあることでした。そこで毎日クッキーを食べながら友達と楽しく会話をする時間は一日の中で大切な時間になりました。ホストファミリーとの夕食でお米が出てくることや、車が左側通行なところ、また景色も日本と似ている部分が多かったです。私が大きく違うと感じた部分は学校の様子です。特に、授業の中では、生徒がキャンディを食べていたり、走り回って教室から出て行ったりと、とにかく全員が自由でした。その中で私がいいなと感じたのは、先生が一方的にお話をして生徒が聞くのではなくて、授業の最初から最後まで先生と生徒が対話をしてコミュニケーションをとっていたところでした。クラスが賑やかでとても温かい雰囲気だったので、気軽に楽しく授業を受けることが出来ました。

そして、私はもともと英語を勉強することが好きで、英語に興味があったのでホストファミリーや学校で新しくできた友達とコミュニケーションをとることを楽しみにしていました。しかし日常の英語はスピードが早くて聞き取れなかったり、即座に言いたいことを現わされなかったりして苦勞しました。その中でもホストファミリーの方と一緒にティータイムを過ごしてくれた方々が、私たちに伝わるようにジェスチャーを使ってくれたり、ゆっくり話してくれて常に優しく接してくれました。本当にずっとサポートされていました。

最後に、今回私が一番心に残ったことは、ニュージーランドの人たちの習慣です。例えば、私のホストファミリーは4人家族でしたが、バスケットボール、クリケット、ネットボールなど他にもたくさんのスポーツを行っていて、一人ひとりがそれぞれ違う種目で活躍していました。私はそれを見て、周りに影響されないで自分がやりたいものを優先して行っているのが魅力だと感じました。他にも、家族みんなの就寝時間が早くて毎日規則正しい生活をしていたり、一日の出来事を笑いながら話している様子を見たりすると、毎日充実していて幸せだなあと感じました。私ももっと自分に自信をもって、やりたい事、挑戦したいことにどんどんぶつかって行きたいです。